

病院で働く 医療のプロフェッショナル

病院では、治療を行う医師や看護師をはじめ、さまざまな職種
のスタッフが働いています。
その多くは専門性の高いスキルや知識が必要で、国が認める国家
資格を有していなければ就けない職種がほとんどです。日進月
歩の現代医療に携わる仕事であるために、常に専門知識を磨く努
力をする必要があります。高度な専門技術に加えて、コミュニケーション
スキルや人間性なども求められます。また、一人の患者さんに
複数の医療スタッフが連携して、治療やケアを行う「チーム医療」
にも取り組んでいます。

薬剤師の仕事について

Interview

～薬剤師・渡部 晃央 (9年目)～



FILE:06

薬剤師という職業を選んだきっかけは？

祖父が薬関係の仕事をしていたので、幼いころから漠然と将来は薬に関する仕事してみたいなと思っていました。高校のとき、化学が好きだったので、薬剤師をめざすようになりました。薬剤師になりたいと先生に相談したところ「薬剤師になるのは難しいから考え直した方がいい」と言われましたが、なんとかなることができました。

雲南病院で働こうと思った理由は？

大学生のとき、雲南病院で実習をしました。薬剤師が病棟で薬剤管理指導や院内会議に参加し、患者さんの治療に貢献していると思いました。また、病棟以外にも、栄養サポートチーム、緩和ケアチームなど他職種との連携が多く、さまざまな知識が吸収できると思いました。何よりも、職員の方が楽しそうに働いていて良いなと思いました。

どんな仕事をしていますか？

薬剤師と言えば、「薬の調剤をする人」というイメージだと思います。もちろん調剤はしますが、それ以外にも抗がん剤の調整や点滴のセットなどもしています。また、入院患者さんの薬に対する誤解をなくし、飲み方の説明を行っています。抗がん剤の説明を行い、副作用の予防や対応などのアドバイスも行っています。

雲南市立病院で働いてみての感想は？

病院スタッフは気さくで話しやすい方が多く雰囲気も良いため、とても働きやすいです。
また、さまざまな場面でチーム医療が行われており、薬物療法において薬剤師が活躍できると思います。



▲医師が作成した処方せんの中身が間違っていないか確認する業務 (調剤監査)



▲患者さんの薬について相談中

これからどのような薬剤師になりたいと思いますか？

患者さん一人ひとりに寄り添って、患者さん中心の医療をしていきたいと思っています。病気や薬の知識だけではなく、食事や運動といった食生活の面や生活環境、生活習慣、精神的な面などさまざまな視点から患者さんをサポートしていく必要があると感じています。薬のことに限定せず、幅広い知識を身に付け、患者さんの問題を解決する一助になれるよう、日々努力していきたいと思っています。また、「出前講座」、「薬物乱用教室」など院外での活動も積極的に行っていきたいです。

薬剤師の仕事のやりがいを教えてください。

患者さんにとってより良い治療方法は何か、さまざまな職種と一緒に考えることができ、密に連絡を取り合うことができることを一番の魅力と感じています。薬剤師以外の職種と相談や議論をすることで、薬剤師だけで導き出した答えよりも良い答えを導き出せ、その提案で患者さんの苦痛が大きく改善されることもあり、やりがいを感じています。

雲南病院だより

海洋センターラソネットで水中運動指導を行っています

当院では水中運動療法士の資格を有した理学療法士2人が月に2回、雲南市加茂B&G海洋センターラソネットで水中運動指導を行っています。市の調査によると高齢者の6〜7割が腰痛・ひざ痛を抱えています。



理学療法士：加多納 拓也、野津 千亜季

そのため、この教室では水中運動指導を通して、健康寿命を短くする原因の一つである*ロコモティブシンドロームの予防を目的としています。
教室の内容は主に個別指導と集団指導があり、「個別指導」は体の機能回復を目的とした水中運動を専門的に指導します。「集団指導」は、ロコモ対策の水中ウォーキングを中心に行います。水中運動は陸上に比べて体の

の負担が少ない上に、大きな運動効果が得られると言われており、利用者の方一人ひとりに合った運動指導や水中ウォーキングを中心に行います。いつまでも元気に過ごすために、水中運動をしてみませんか。

*ロコモティブシンドロームとは？ 骨や関節、筋肉など運動器の衰えが原因で、歩行や立ち座りなどの日常生活に障害をきたしている状態のことをいい、進行すると要介護や寝たきりのリスクが高まります。

～教室に通われている方から～

- この教室に通い始めきっかけは、股関節手術をすることになり、体力作りのために始めました。通い始めて4回くらいです。他の施設でも水中運動していたが、この教室では1対1できちんと指導してくれるので満足しています。

～このような方におすすめです～

- 医師、保健師等から運動療法を勧められた方
- メタボリックシンドローム、糖尿病などが心配な方
- 膝や腰などの関節が痛い方
- プールで運動してみたいが、どんな運動したらいいかわからない方
- 一人では運動が継続できない方



【教室日】第2、4木曜日 13時30分～ (時間は要相談)

【会費】1回 1,240円

【問い合わせ】

加茂B&G海洋センターラソネット ☎0854-49-7100

雲南市立病院 リハビリステーション技術科

☎0854-47-7523

*申し込みには医師の許可書が必要になります。

病院建設工事・移転について

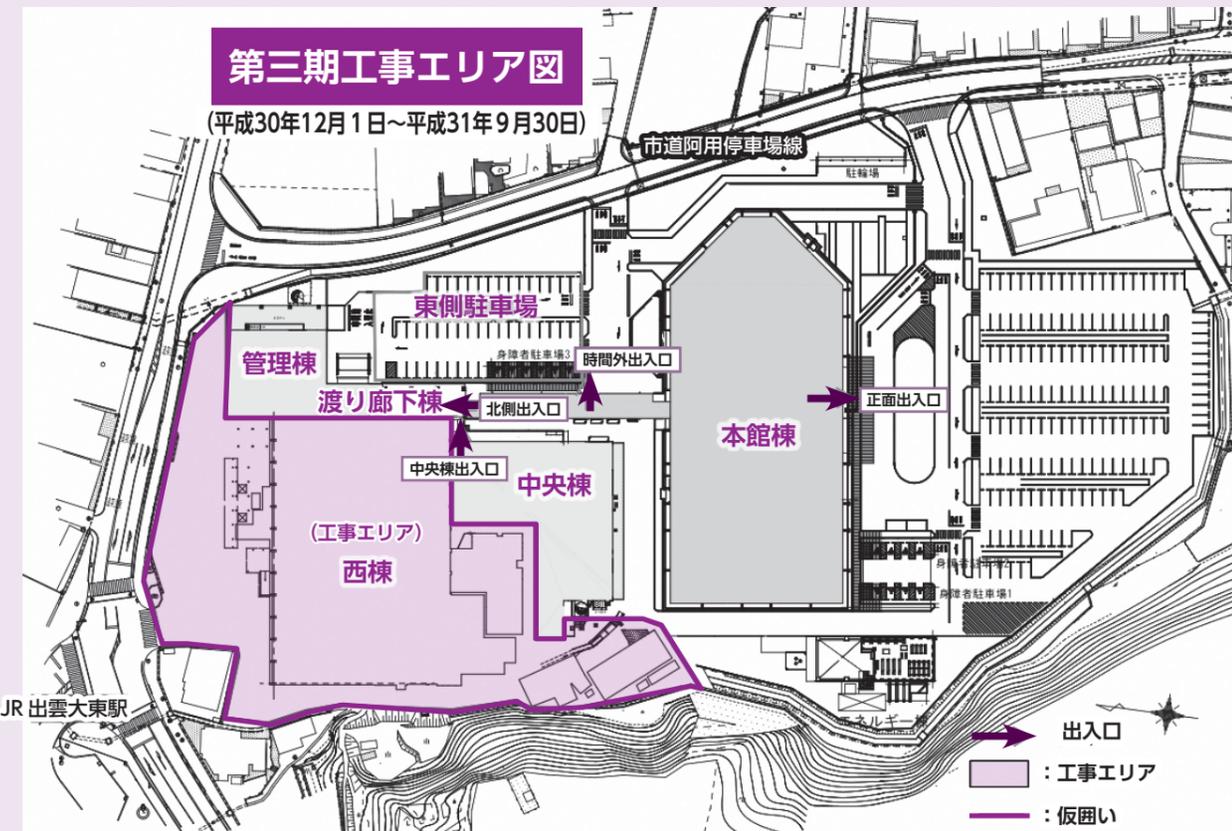
3月22日に新本館棟が開院したのち、4月から東棟改修工事および付属棟の解体工事、また外構工事として東側駐車場の整備を行い、11月16日にこれらの工事が完了しました。

改修された東棟は、管理棟へ名称を変更し病院管理部門として運用し、東側駐車場は、駐車台数48台（内身障用6台）で、病院利用者の方に利用いただきます。

また、阿用停車場線改良工事第二期工事については、順調に工事が進み、年内には完成をする予定です。

今後は、病院第三期工事として西棟等解体工事を行い、解体後は外構工事として北側駐車場や水路等の整備を行います。

平成31年9月のグランドオープンに向け、引き続き工事を進めていきます。



新本館棟 紹介

薬剤科
(2階)

地域医療 日本一をめざし 頑張ります！

薬剤科は現在薬剤師6人、調剤助手1人の総勢7人体制です。
新本館棟開設により、薬剤科も新本館棟の2階に移りましたので紹介します。

[薬剤師の業務]

- ・注射調剤業務
- ・病棟業務
- ・調剤業務
- ・抗がん剤調整
- ・注射混注業務
- ・持参薬鑑別
- ・チーム医療への参加



▲飲み薬や外用薬を取り揃える（計数調剤）

▲抗がん剤の調整を行う業務

薬剤科では、1階から2階へ移転し、部屋に入る際にセキュリティ面が強化されました。移転前は部屋の間取りがL字型でしたが、病院が新しくなつてからは四角型の間取りになり、元倉庫が近くにあり作業をするとき便利で移動がしやすくなりました。

そして、抗がん剤調整室、TPN調整室（輸液や栄養製剤を混注する部屋）、乾性製剤室（院内製剤^{*}する部屋）がそれぞれあり、広いスペースで作業ができるようになりました。

薬剤科の業務はいろいろありますが、そのうちの調剤業務には、医師の処方せんに基づいて、外来患者さんにお渡しするお薬を調剤する外来調剤と、入院している患者さんのお薬を調剤する入院調剤があります。

病棟業務とは、入院患者さんに対して各病棟に専任の病棟薬剤師を配置して、内服薬・注射薬の説明を行い、患者さん一人ひとりの薬剤に関する疑問や不安などの相談をお受けしています。お薬が正しく服用されているかどうか、お薬の副作用がないかどうかを確認すると共に、患者さんが持参された薬剤を全てチェックし他病院の処方内容との重複や相互作用、入院して行われる治療に影響がないかなど確認も行います。

当科は、感染制御チーム・栄養サポートチーム（NST）・緩和ケアチームの一員として、そして雲南市立病院の薬剤師として、他の医療スタッフと共に病棟の巡回を行い、実際に患者さんに対面しながら多角的にそれぞれの職種の専門性を活かせるよう努めています。

より良い医療をお届けできるよう活動し、頑張っています。

※市販化されていないが、患者さんの病態やニーズに対応するために院内で調整される製剤



ここはぐ 12月から第2木曜日に (参加費無料です)

[赤ちゃん体操(ここはぐ)]と
育児相談を行います。

時間 10:00～11:30

対象 雲南市民の方で、新生児1ヵ月健診で異常がなかった、生後6週目以降の乳児とその親

当院の理学療法士が講師で
妊婦体操を行います。

時間 14:00～16:00

対象 雲南市民の方で、妊娠28週以降で、受診されている施設から体操の許可のある妊婦さん

場所 201会議室（渡り廊下棟）